

8京医大第758号
令和8年7月10日

関係大学長様
関係研究機関等の長様

京都府立医科大学長
夜久均
(公印省略)

歯科口腔科学准教授候補者の推薦について（依頼）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本学大学院医学研究科歯科口腔科学（医学部医学科歯科口腔科学教室）准教授を下記の要領で公募、選考することとなり、御依頼申し上げているところですが、この度、期間を延長することになりました。

この度公募する歯科口腔科学准教授には、歯科・口腔科学において秀でた臨床能力を有し、かつ優れた教育・研究能力を持ち、人材確保・育成を推進することができ方を求めます。また現在本学附属病院は救命救急センター指定を受けており、一般歯科（歯周病，補綴，保存）の高度な経験に加え、救急における顎顔面外傷の手術対応や教育指導を行える専門性（日本口腔外科学会認定資格等）を有し、その活動を円滑に発展させる能力のある方を求めます。

なお、教育・研究・臨床等において優れた実績を有する場合、准教授として採用後、本学規定に基づき、病院教授の称号付与に向けた審査を速やかに行います。また、現在本学は、大学院改革や国際化など我が国が直面する課題に真摯に取り組んでいることを申し添えます。

つきましては、ご多用中恐縮に存じますが、貴施設におきまして適任者がおられましたら、下記により令和8年8月24日（月曜日・午後5時必着）までにご推薦くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

- (1) 履歴書（注1） 1部（別紙様式1）
- (2) 業績目録（注1） 1部（別紙様式2）
- (3) 業績目録に記載された代表的な論文10編の要旨・意義・被引用回数(Scopus) 各200字程度
- (4) 論文別刷(業績目録に記載された代表的な論文10編、および過去10年間の筆頭著者と責任著者論文)のPDFファイル(紙媒体は不要)
※ファイル名を「代表論文__業績目録上の論文番号」、「筆頭著者論文__業績目録上の論文番号」、「責任著者論文__業績目録上の論文番号」、「代表・筆頭・責任著者論文__業績目録上の論文番号」等としてください。
- (5) 「診療におけるこれまでの経緯及び今後の計画」(注2) 2000字程度
- (6) 「教育・研究における過去の経歴及び将来の抱負」(注3) 2000字程度

- (7) 推薦書（所属長、指導教授などの2名） 各1部
(8) (1)、(2)、(3)、(4)、(5)、(6)については、下記規定に従って記録した
USBフラッシュメモリーも添付してください。

※ (注1) (1)履歴書、(2)業績目録の様式は、本学ホームページでご確認ください。
(<https://www.kpu-m.ac.jp/doc/news/2026/20260710.html>)

(注2) 臨床経歴・臨床経験を記載して下さい。特に周術期口腔機能管理に関する取り組みや、他部門・他施設との連携やこれまで行った社会活動についても記載下さい。過去3年間の歯科・口腔外科領域の手術実績を添付される場合は(別紙様式3)に従って記載して下さい。

(注3) 学部生・大学院生・研修医・専攻医等の教育の実績を記載して下さい。また、行政機関・歯科医師会団体・関係病院等との活動などの社会的貢献も含めた広い視点での実績も記載して下さい。

問い合わせ先：〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町 465
京都府立医科大学総務課総務係 電話 075-251-5210
e-mail: soumu02@koto.kpu-m.ac.jp

[規 定]

紙サイズ A4 サイズ

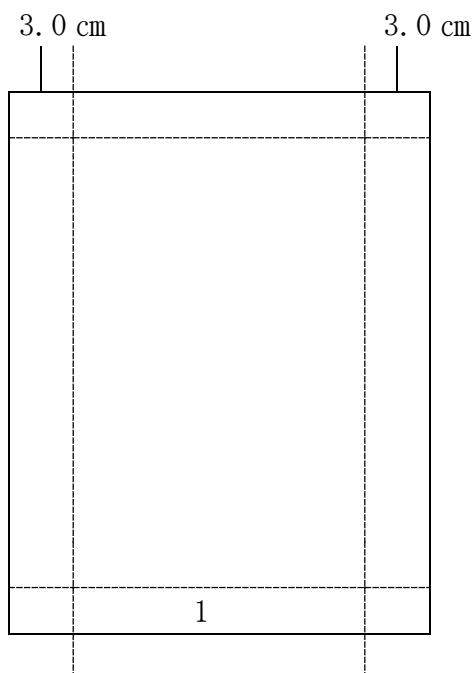
ソフトは Microsoft Word (Windows, Mac 共に可)

文字のフォントは明朝体、12 ポイント、数字及び英語は半角

行間はシングルスペース、1 行あたり文字数 35 字、33 行

上下、左右共にスペースは 3.0 cm

項目 (1), (2), (3), (5), (6) ごとに頁番号をつける (下部中央印字)



なお、ご提出していただいた書類等の個人情報につきましては、本学大学院医学研究科歯科口腔科学准教授選考の目的以外には使用しません。本学内の教授会等で公開されることをご承知おき下さい。

提出先 〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町4 6 5
京都府立医科大学長 宛

※応募者の連絡先（電話と E メールアドレス）を履歴書とは別にご提出下さい。

※封筒に「歯科口腔科学准教授応募書類在中」と朱書きして書留でご送付ください。

（その他） 選考の過程で面接及びセミナーにお越しいただくことがあります。また、貴施設にお伺いして、カンファレンス等を傍聴させていただく場合があります。

別紙様式 1

履 歴 書

医 大 太 郎

昭和（または西暦）〇年〇月〇日生（〇歳）

現住所 〇〇県△△市

- 平成〇〇年(19xx年) 3月31日 〇〇大学歯学部卒業
- 平成〇〇年(19xx年) 3月〇日 歯科医師免許証取得（第〇〇〇〇号登録）
- 平成〇〇年(19xx年) 4月1日 〇〇大学附属病院歯科研修医、歯科勤務
- 平成〇〇年(19xx年) 4月1日 〇〇大学大学院 博士課程入学
- 平成〇〇年(19xx年) 3月23日 歯学博士（〇〇大学 第〇〇号）
- 平成〇〇年(19xx年) 3月31日 〇〇大学大学院 博士課程修了
- 平成〇〇年(19xx年) 4月1日 〇〇大学〇〇学部助手、〇〇科学教室勤務
- 平成〇〇年(19xx年) 4月1日 アメリカ合衆国〇〇大学へ留学
(〇〇大学〇〇学部〇〇科 Visiting Professor)
- 平成〇〇年(20xx年) 8月31日 帰国
- 平成〇〇年(20xx年) 9月1日 〇〇大学〇〇学部部講師、〇〇科学教室勤務
現在に至る
- 平成〇〇年(19xx年)4月1日 ～ 平成〇〇年 3月31日 〇〇大学非常勤講師
- 令和〇年(20xx年)4月1日 ～ 令和〇年 3月31日 〇〇大学客員講師

所属学会等

日本〇〇学会会員 (平成〇〇～令和〇年度)

学会役員等

日本〇〇学会理事 (平成〇〇～令和〇年度)

日本〇〇学会評議員 (平成〇〇～令和〇年度)

学会・機構の認定医，専門医，指導医等

日本〇〇学会認定医 (第〇〇〇号)

日本〇〇学会専門医 (第〇〇〇号)

日本〇〇学会指導医 (第〇〇〇号)

学術活動・社会貢献等

〇〇誌の編集委員

知的財産（これまでに出版した特許等）目録

1. 発明等の名称；新規な xxxxx・およびその用途

出願番号：特願 20xx-xxxxxxx ; 平成〇〇年〇月

発明者：〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇

2. 発明等の名称：〇〇病発症またはリスクの〇〇的検出方法

出願番号：特願 20xx-xxxxxxx・PCT/JPxx/xxxxx ; 平成〇〇年〇月

発明者：〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇

大学など機関内の委員会、小委員会、審査会等への貢献実績

1. 〇〇大学〇〇委員会〇〇小委員会委員 平成〇～〇年度

2. 〇〇大学〇〇学部〇〇委員会委員 平成〇～〇年度

賞罰 平成〇〇年 日本〇〇学会奨励賞

研究助成（これまでに受けた文部科学省科学研究費，厚生労働省科学研究費，
日本医療研究開発機構 (AMED) などの助成金額等について直接・間接
経費の総額を記入してください)

公的助成

代表

- 1 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (A) 平成〇～〇年度
〇〇〇〇〇〇〇の研究 助成金額 〇〇千円
- 2 厚生労働省科学研究費補助金〇〇〇〇〇事業 平成〇～〇年度
〇〇〇〇〇〇〇の研究 助成金額 〇〇千円
- 3 日本医療研究開発機構 (AMED) 〇〇〇〇〇事業 令和〇～〇年度
〇〇〇〇〇〇〇の研究 助成金額 〇〇千円

分担

- 1 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (A) 平成〇～〇年度
〇〇〇〇〇〇〇の研究 (代表者 〇〇) 助成金額 〇〇千円
- 2 厚生労働省科学研究費補助金〇〇〇〇〇事業 平成〇～〇年度
〇〇〇〇〇〇〇の研究 (代表者 〇〇) 助成金額 〇〇千円
- 3 日本医療研究開発機構 (AMED) 〇〇〇〇〇事業 令和〇～〇年度
〇〇〇〇〇〇〇の研究 (代表者 〇〇) 助成金額 〇〇千円

※ 分担研究につきましては、本人への助成金額を記入してください。

財団等からの助成

代表

- 1 〇〇〇〇財団〇〇〇〇助成 平成〇～〇年度
〇〇〇〇〇〇〇の研究 助成金額 〇〇千円
- 2 〇〇〇〇財団〇〇〇〇助成 令和〇～〇年度
〇〇〇〇〇〇〇の研究 助成金額 〇〇千円

分担

- 1 〇〇〇〇財団〇〇〇〇助成 平成〇～〇年度
〇〇〇〇〇〇〇の研究 (代表者 〇〇) 助成金額 〇〇千円

2 ○○○○財団○○○○助成 令和○～○年度
○○○○○○○○の研究 (代表者 ○○) 助成金額 ○○千円

※ 分担研究につきましては、本人への助成金額を記入してください。

業 績 目 録

いだい たろう
医大 太郎

(A-a) 英文著書

*個人著書の場合

- 1 Idai T. Means to and end: apoptosis and other cell death mechanisms. ○○○○○ (注 出版社名), New York (注 出版社の所在都市名) : pp1-220, 2011.

*分担執筆の場合

- 2 Kyoto H, Idai T. Cancer chemotherapy, immunotherapy & biotherapy, 6th ed. In: Idai J, Kyoto A, editors. ○○○○○ (注 出版社名), Philadelphia (注 出版社の所在都市名) : pp457-466, 2019.

(A-b) 和文著書

*個人著書の場合

- 1 医大太郎. なぜベイズを使わないのか!? ○○堂, 京都: pp1-262, 2017.

*分担執筆の場合

- 2 京都花子, 医大太郎. 次世代シーケンサーによる造血器腫瘍解析. 造血器腫瘍アトラス改訂第5版. 医大二郎 編. 日本○○社, 東京: pp95-102, 2016.

(B-a) 英文総説

- 1 Idai T., Kyoto M. Genomic imprinting disorders: lessons on how genome, epigenome and environment interact. Nat Rev Genet (注 PubMed の略名法による) 20: 235-248, 2019. (IF=41.464)

(B-b) 和文総説

- 1 医大太郎. ゲノム医療時代の病理医の役割. ○○医学 26:39-45, 2019.

(C-a) 英文原著

- 1 Idai T, Kamigyo J, Kyoto H, Kawaramachi A, Kamogawa R, Shimogamo H. Glycolytic switch is required for transdifferentiation to endothelial lineage. Circulation 139: 243-255, 2019. (IF=18.88)

(C-b) 和文原著

- 1 医大太郎, 京都花子, 上京二郎. 水球選手のメンタルタフネスを評価する有効な質問項目の検討. ○○医 (注 医学中央雑誌の略名法による) 174 : 227-235, 2017.

(D) 学会発表

学会発表は、国内外の学会における特別講演・教育講演等、シンポジウム・ワークショップ・パネルディスカッション等の発表、及び国際学会における一般発表のみ記載してください。

記載の方法は前記に準じ、題名、発表学会名、開催地を発表年の順に記載してください。

I) 特別講演、教育講演等

- 1 Idai T. Customized induced pluripotent stem cell-derived red cell reagents. Plenary lecture. 59th Annual Meeting of Am Soc of Hematol. 2017 Dec 7; ○○○○○, USA (注 会議の開催都市名、国名、ただし国内の場合国名は省略) .
- 2 医大太郎, 医大二郎, 京都花子. 教育講演. 世界に羽ばたく○○の育て方. 第77回日本○○学会, 2018, 福島.

II) シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション等

- 1 Idai T. Estimation of strength during fracture healing based on acoustic emission properties. Symposium; Bone trauma and fracture repair. 2nd World Congress of Biomechanics. 2005 Jul 14; ○○○○○, Netherlands (注 会議の開催都市名、国名、ただし国内の場合国名は省略).

III) 国際学会における一般発表

- 1 Idai T. Prognostic impact of past history of other malignancies in prostate cancer. International Prostate Cancer Symposium. 2015 Oct 29-31; ○○○○○, USA (注 会議の開催都市名、国名、ただし国内の場合国名は省略) .

履歴書・業績目録記入上の注意について

業績目録は、別紙様式2のとおり (A-a) 英文著書、(A-b) 和文著書、(B-a) 英文総説、(B-b) 和文総説、(C-a) 英文原著、(C-b) 和文原著及び、(D) 学会発表に分類し、それぞれ最近のものから年順に列挙し別葉としてください。

- (1) 履歴書の年号は元号と西暦を併記してください。
- (2) 代表的な論文10編の番号の前には○印を付けてください。
なお、代表的な論文10編については、それぞれ簡潔に要旨、意義および被引用回数(Scopus)を記したもの(200字程度)を別に添付して下さい。
- (3) 共著、共同発表の場合は、本人の氏名を含め全員の氏名を原典に記載された順に記し、本人氏名に アンダーライン を引いてください。筆頭者とほぼ同等に貢献したことが記載されている論文においては、本人氏名の右肩に # 印を、corresponding author の場合は本人氏名の右肩に * 印を付記してください。なお、筆頭者とほぼ同等に貢献した論文あるいは corresponding author である論文においては、これらのことが記載されているページのコピーも提出して下さい(代表論文として提出する論文におきましては、重複して提出して頂く必要はありません)。
例1) 医大太郎，医大花子，医大二郎．論文名．雑誌名
1X：99X-10XX，20XX.
例2) 医大花子，医大太郎[#]，医大二郎．論文名．雑誌名
1X：99X-10XX，20XX.
例3) 医大二郎，医大太郎^{*}，医大花子．論文名．雑誌名
1X：99X-10XX，20XX.
- (4) 英文総説と英文原著論文については、各論文ごとにクラリベイト・アナリティクス社Journal Citation reports(JCR)2026年版のImpact Factor (2025 Journal Impact Factor として小数点以下桁数1桁で示されるもの)を記載してください。
- (5) 雑誌名が変更となっている場合はその記載の末尾に詳細を明記してください。
- (6) 掲載予定のものについては、それを証明する書類を添付してください。
- (7) 氏名を英語で表記する場合は、下記例のように統一して記載してください。(例) 医大太郎→「Idai T」

- (8) 学位申請論文については、題名の後に(学位論文)と記載してください。

手術症例の記録の書き方について

手術症例の記録は、別紙様式3<記入例>のとおり記載してください。

- 1) 2023年4月—2026年3月に全身麻酔下に手術された症例を年月日順に症例番号・年齢・性別・診断名・手術々式・内容区分・執刀等（執刀症例にはOperatorのOを、指導症例にはSupervisorのSを記入、手術症例には執刀あるいは清潔で直接手術に加わって指導した症例に限る。）・施設名・手術年月日を記載してください。

※内容区分

口腔外科（骨折，唾液腺，骨切除，顎切り，など）

自費診療（インプラント，矯正治療，など）

一般歯科（う蝕歯の治療，歯周病手術，根幹，根尖治療，など）

- 2) 1)で記入した手術術式のうち、主要な術式の症例数を表にして別紙にまとめてください。また、自分の手術につきアピールできる点を800字以内で記述してください。
- 3) 後日、各症例の手術記録を提出していただく場合がありますので、御了承願います。

別紙様式 3< 記入例 >

手術症例の記録 (2023 年 4 月—2026 年 3 月)

いだい たろう
医大 太郎

1) 手術症例

| 症例 番号 | 年齢 性別 | 診 断 名 | 手 術 々 式 | 内容区分 | 執刀等 | 施 設 | 手術年月日 |
|----------|--------|--------|---------|------|-----|--------|------------|
| 1 | 67 歳 女 | 〇〇〇〇〇〇 | 〇〇〇〇〇〇〇 | 口腔外科 | 〇 | 〇〇大学病院 | 2023. 4. 1 |
| 2 | 72 歳 女 | 〇〇〇〇〇〇 | 〇〇〇〇〇〇〇 | 自費診療 | S | 〇〇〇病院 | 2023. 4. 2 |
| 3 | 54 歳 女 | 〇〇〇〇〇〇 | 〇〇〇〇〇〇〇 | 一般歯科 | S | 〇〇〇病院 | 2023. 4. 3 |